

土木図書館におけるデジタルライブラリーへの取り組み

（社）土木学会附属土木図書館 正会員 坂本真至

1. はじめに

土木図書館及び土木図書館委員会では早くから「情報技術を活用した次世代図書館のあり方」＝土木電子図書館（デジタルライブラリー）について検討を開始し、情報技術の進展に合わせてデジタルコンテンツを蓄積・公開してきている。筆者は土木図書館委員会委員として、また近年は土木図書館職員として、土木図書館のデジタルライブラリー化に参画してきた。デジタルライブラリーの中身は大きく「土木学会目録・書誌データベース」と「土木デジタルアーカイブス」に大別されるが、ここでは、その取り組みの現状と課題を報告する。

2. 目録・書誌データベース

従来の図書館では、収集する資料を目録カードで分類・整理していたが、これをデータベース（以下 DB）化することからデジタルライブラリーはスタートした。表 2-1 に示すように、蔵書目録 DB では土木学会が発行するすべての出版物をはじめ土木に関する蔵書資料 3 万 4 千件を網羅し、論文書誌 DB では、学会誌・論文集をはじめ土木学会の活動成果としての全国大会発表論文集や分野ごとのシンポジウム・講演会・委員会論文集、支部論文集などの創刊から最新の文献まで 23 万件の論文を網羅している。

表 2-1 土木図書館が提供する DB の概要

DB の種類	内容	件数	備考
蔵書目録 DB	和洋図書・雑誌のタイトル、著者名、発行所名、発行年、頁数などの情報	和書 3 万件 洋書 4 千件 和雑誌 600 件 洋雑誌 200 件	土木図書館所蔵の図書、雑誌
論文書誌 DB	学会誌、論文集、年講を含む委員会講演シンポジウム論文集、支部年講論文集、主要土木関連雑誌などの論文毎のタイトル、著者名、巻号・年月、抄録、キーワードの情報	学会誌 2.3 万件 論文集 1.1 万件 委員会論文集 60 種 13.7 万件 支部論文集 6 万件 主要土木関連雑誌 30 種 7 万件	学会誌、論文集、委員会論文集、支部論文集は創刊号～最新号までを収録 主要土木関連雑誌は 20 年分を収録（テスト中）

3. 土木デジタルアーカイブス

土木デジタルアーカイブスでは、土木の貴重な資料類を原文で紹介することを目的としている。表 3-1 にその全体概要を示したが、主な内容は以下のとおりである。

3. 1 雑誌

大正 4 年の創刊号から昭和 30 年までの土木学会誌 pdf や、土木学会の前身である工学会（現日本工学会）の明治 14 年創刊から大正 10 年まで発行された工学会誌のうち土木篇、また満州土木学会で発行された「土木満州」その前身の「建設」、昭和初期の工事写真が豊富に掲載されている「土木建築工事画報」などを公開中である。

3. 2 図書・基準類

学会選定戦前名著 100 書のうち第 1 期分として 45 冊、内務省河川工事を中心に当時の工事報告書 100 冊、戦前の基準類のうち道路構造令やコンクリート示方書の一部などの貴重書を公開中である。

キーワード：土木図書館、データベース、デジタルアーカイブ、デジタルライブラリー

連絡先：〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 Tel 03-3355-3596 Fax 03-3355-6055 Email:sakamoto@jsce.or.jp

3. 3 土木絵葉書・土木写真

明治、大正、昭和初期の土木絵葉書 3,600 点のほか、震災復興写真 1,200 点、その他の工事写真 2,300 点などを紹介している。この中には、田島二郎氏の橋梁写真集、倉西茂氏の新潟地震記録写真集、永井俊一氏の永代橋写真集などのコレクションが収録されている。

3. 4 歴史的鋼橋集覧・古市公威旧蔵写真館

「歴史的鋼橋集覧」は土木学会鋼構造委員会歴史的鋼橋調査小委員会から提供を受けた 900 橋のデータベースで、橋梁仕様データ、写真、位置図、一般図から構成され検索もできるようになっている。

また、初代会長古市公威の所蔵していた明治期の土木関連写真 117 点に解題を付した「古市公威旧蔵写真館」と平成 16 年度に行った「生誕 150 年記念企画展」の様態を掲載している。

表 3-1 土木デジタルアーカイブス公開項目リスト

種類	内容	収録範囲
戦前貴重雑誌全文	学会誌、論文集、工学会誌（土木篇）、建設、土木満州、土木建築工事画報などの目次 html 及び記事単位の全文 PDF	学会誌 大正 4 年（1 巻 1 号）～昭和 30 年（40 巻 12 号） 論文集 昭和 19 年（1 号）～30 年（30 号）、工学会誌 明治 14 年（1 巻）～大正 10 年（452 巻）、建設・土木満州 昭和 11～19 年 土木建築工事画報 大正 14 年（1 巻）～昭和 15 年（15 巻）
戦前名著・内務省関連資料	土木学会戦前名著 100 書 内務省土木出張所工事資料	45 冊 100 冊
土木写真・絵葉書	古市公威旧蔵写真、戦前絵葉書、震災復興写真、橋梁写真、工事写真などの jpg ファイル	古市公威旧蔵写真集 117 点（解題付） 戦前土木絵葉書 3,600 点 震災復興写真 1,200 点 橋梁写真 900 点 その他工事写真 2,300 点
歴史的鋼橋集覧	橋梁仕様データ、写真、位置図、一般図など	歴史的鋼橋 900 橋（鋼構造委員会歴史的鋼橋調査小委員会提供）
基準類	道路構造令、コンクリート標準示方書	道路構造令 大正 8、昭和 3、昭和 10、昭和 11（解説） コンクリート標準示方書 昭和 6～26 年

4. 今後に向けて

土木図書館及び土木図書館委員会では 3 年前の新装オープンを機に施設・機能・環境の充実をはかるとともに、情報化についても 15 年前から取り組んできた成果を更に拡張して、土木電子図書館（デジタルライブラリー）の構築を行ってきた。会員 4 万人のうち、地理的な条件から実際に来館して図書館サービスを受けることの出来る方は限られている。図書館情報化と平行して進展した社会のデジタル化やインターネットの普及、高速通信網の整備などにより、地方会員でも気軽に土木図書館のサービスが受けられる時代になってきたことは、土木図書館委員会が当初から目指してきた理想が徐々に実現していく過程であったとも言える。現在図書館ホームページへのアクセス数は月平均で 2 万件を超えており、3 年間で 60 万件に達するものと思われる。とはいえ、超えるべきハードルはまだ残されており、会員あるいは広く土木に関心のある一般の方々が、必要とする情報を時間と場所の制約を受けることなく手軽に入手できる環境の構築と日々のメンテナンスが必至である。当面の課題は以下のとおり。

- (1) 検索システムの拡張：現在の namazu によるキーワードをもとにした全文検索に加え、連想検索などの手法を取り入れたより使いやすい検索機能の提供
- (2) デジタルアーカイブの拡張：デジタルミュージアムを視野に入れた、貴重資料・図面・写真・映像などのデジタル化のより一層の推進
- (3) 会員に特化したサービス：土木学会発行の最新書誌情報を直接画面表示できるような仕組みの構築

参考文献

- ・ 今 尚之・野末 道子・森岡 倫子：土木図書館が提供する蔵書・（学会）論文検索システムの利用について 第 59 回年次学術講演会 CS2-003 土木学会 2004
- ・ 土木図書館ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/library/>